

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月6日

上場会社名 東邦亜鉛株式会社
 コード番号 5707 URL <http://www.toho-zinc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手島 達也
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 今井 通弘
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東大

TEL 03-3272-5614

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	79,334	—	1,577	—	△106	—	△4,978	—
20年3月期第3四半期	113,394	23.6	13,911	△8.9	14,019	△2.5	8,291	0.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	△36.66	—
20年3月期第3四半期	61.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	112,682	44.8	50,485	45.9	—	—	371.76	—
20年3月期	124,650	—	57,257	—	—	—	421.61	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 50,485百万円 20年3月期 57,257百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	94,000	△36.2	2,000	△88.4	700	△95.9	△4,900	—	△36.08

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 135,855,217株 20年3月期 135,855,217株

② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 52,967株 20年3月期 50,794株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 135,803,100株 20年3月期第3四半期 135,806,588株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成20年10月31日に公表いたしました平成21年3月期通期連結業績予想について、本資料において修正しております。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

3. 当連結会計年度より、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の減速が輸出の大幅な減少と円高を招来したこと等から企業の生産活動を萎縮させ、企業業績の悪化、株式相場の大幅な下落、内需の低迷、雇用環境の悪化等が急速に進むという情勢下にあります。

このようななか、当社の経営環境は、第3四半期に入って以降、主力製品である亜鉛・鉛製品の需要が、自動車の減産等の影響により急減し、かつ、LME（ロンドン金属取引所）相場下落と円高の影響を受けたため、上半期をさらに上回る極めて厳しい事業環境となりました。

以上の結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、第3四半期に入って中核事業である製錬事業が営業損失となったことに加え、持分法適用関連会社である豪州の鉱山会社（CBH Resources Ltd.）の経営悪化に伴う持分法投資損失や投資有価証券評価損を計上したこともあり、下表のとおり対前年同期比で大幅な減益に陥り経常損失および四半期純損失となりました。

(単位：百万円)

区 分	前第3四半期 連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)	当第3四半期 連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	増 減	増 減 率 (%)
売 上 高	113,394	79,334	△34,059	△30.0
営業利益	13,911	1,577	△12,334	△88.7
経常利益	14,019	△106	△14,125	—
四半期純利益	8,291	△4,978	△13,269	—

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

① 製錬事業部門

当社グループの主力事業である製錬事業につきましては、副産品である硫酸は増収となりましたが、亜鉛・鉛価格の大幅な下落などにより売上高は591億33百万円（前年同期比33%減）、営業損失は7億71百万円（前年同期は営業利益100億21百万円）となりました。

② 電子部材事業部門

電解鉄は特殊鋼向けに引き続き好調でしたが、主力の電子部品が需要低迷に加え価格競争と原材料価格の高騰により減収となった影響が大きく売上高は67億33百万円（前年同期比18%減）、営業利益は5億38百万円（同35%減）となりました。

③ 環境・リサイクル事業部門

当事業部門の柱である酸化亜鉛の価格下落等により売上高は59億95百万円（同38%減）、営業利益は7億43百万円（同62%減）となりました。

④ その他事業部門

産業廃棄物の取り扱いが堅調であったため売上高は74億72百万円（同5%増）となりましたが、燃料価格等のコスト上昇の影響により営業利益は11億98百万円（同9%減）となりました。

なお前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1,126億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ119億68百万円の減少となりました。これは、現金及び預金は増加したものの、製品価格の下落による売上債権の減少及び時価の大幅な下落による投資有価証券の減少等によるものであります。

なお、純資産は504億85百万円となり、自己資本比率は44.8%と当四半期連結会計期間において1.1ポイント悪化しております。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ59億40百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末は202億73百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は147億67百万円となりました。主な増加要因は、売上債権の減少額50億87百万円、たな卸資産の減少額62億29百万円及び投資有価証券評価損45億55百万円等であり、主な減少要因は、税金等調整前四半期純損失55億90百万円及び法人税等の支払いによる36億70百万円であります。

投資活動による資金の支出は29億82百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による28億49百万円の支出であります。

財務活動による資金の支出は、58億46百万円となりました。主な要因は、長期借入金の返済による24億87百万円、コマーシャル・ペーパーの減額による20億円及び配当金の支払いによる13億58百万円の支出等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの主力であります亜鉛・鉛事業につきましては、LME(ロンドン金属取引所)相場場の下落と需要の低迷に加え、円高の影響、たな卸資産の在庫評価損失等もあり、大変厳しい事業環境が継続するものと予想されます。また、持分法投資損失や投資有価証券評価損も避けられず、通期業績については、売上高、営業利益、経常利益及び純利益とも前年同期と比べ減少する見込みであります。

〔通期連結業績予想〕

(単位:百万円、%:対前期増減率)

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
94,000	2,000	700	△4,900
△36.2%	△88.4%	△95.9%	—

〔金属価格・為替の実績と予想〕

	単位	4～12月 実績	1～3月 予想
亜鉛	\$/t	1,690	1,100
鉛	\$/t	1,821	1,100
銀	\$/oz	14.1	12.0
為替	¥/\$	102.8	90.0

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①会計基準等の改正に伴う変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 平成19年3月14日）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産の評価基準

通常の販売目的で保有するたな卸資産の評価基準については、従来、原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、3,114百万円減少し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ同額増加しております。

②会計基準等の改正に伴う変更以外の変更

重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産の評価方法

当社は電子部材系たな卸資産以外のたな卸資産（貯蔵品を除く。）の評価方法については、従来、後入先出法による原価法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より先入先出法による原価法に変更しております。

変更理由は以下のとおりであります。

1) 「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたこと、及び近年の原材料等の価格の大幅な変動を受け、たな卸資産の貸借対照表価額と時価の乖離が顕著になったことから、乖離を縮小し財政状態をより適正に表示するため。

2) 会計基準の国際的なコンバージェンスの取組みが加速している中で、平成20年3月31日に企業会計基準委員会より「棚卸資産の評価に関する会計基準（案）」（企業会計基準公開草案第25号）が公表され、後入先出法が廃止される見込となったため。

なお、上記公開草案は平成20年9月26日に改正企業会計基準第9号として確定しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は、3,571百万円減少し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失は、それぞれ同額増加しております。

5 . 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,298	14,357
受取手形及び売掛金	14,285	20,120
商品及び製品	5,859	6,911
仕掛品	5,823	6,028
原材料及び貯蔵品	8,603	13,576
繰延税金資産	1,316	539
その他	8,402	8,254
貸倒引当金	37	52
流動資産合計	64,551	69,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	5,840	5,767
機械装置及び運搬具 (純額)	10,613	10,573
土地	16,947	16,947
建設仮勘定	1,597	763
その他 (純額)	341	324
有形固定資産合計	35,340	34,375
無形固定資産		
その他	108	92
無形固定資産合計	108	92
投資その他の資産		
投資有価証券	5,220	11,620
関係会社株式	3,919	5,279
長期貸付金	1,378	1,379
繰延税金資産	963	887
その他	2,011	2,140
貸倒引当金	810	862
投資その他の資産合計	12,681	20,445
固定資産合計	48,130	54,914
資産合計	112,682	124,650

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,615	8,132
短期借入金	21,601	21,601
1年内返済予定の長期借入金	4,894	4,896
コマーシャル・ペーパー	1,000	3,000
未払法人税等	352	1,130
引当金	97	107
その他	8,189	7,327
流動負債合計	43,750	46,193
固定負債		
長期借入金	9,132	11,618
退職給付引当金	3,196	3,393
その他の引当金	299	390
再評価に係る繰延税金負債	5,785	5,785
その他	33	11
固定負債合計	18,446	21,200
負債合計	62,196	67,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,630	14,630
資本剰余金	9,877	9,877
利益剰余金	17,425	23,839
自己株式	22	21
株主資本合計	41,910	48,325
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	789	1,039
繰延ヘッジ損益	547	69
土地再評価差額金	7,579	7,579
為替換算調整勘定	340	381
評価・換算差額等合計	8,575	8,931
純資産合計	50,485	57,257
負債純資産合計	112,682	124,650

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	79,334
売上原価	73,350
売上総利益	5,984
販売費及び一般管理費	4,406
営業利益	1,577
営業外収益	
受取利息	261
受取配当金	134
その他	106
営業外収益合計	502
営業外費用	
支払利息	417
持分法による投資損失	1,396
為替差損	185
その他	187
営業外費用合計	2,186
経常損失()	106
特別利益	
固定資産売却益	4
貸倒引当金戻入額	18
その他	1
特別利益合計	24
特別損失	
固定資産除却損	200
減損損失	130
投資有価証券評価損	4,555
持分法によるのれん相当額一時償却額	605
その他	17
特別損失合計	5,508
税金等調整前四半期純損失()	5,590
法人税、住民税及び事業税	504
法人税等調整額	1,116
法人税等合計	611
四半期純損失()	4,978

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失()	5,590
減価償却費	2,314
減損損失	130
持分法によるのれん相当額一時償却額	605
投資有価証券評価損益(は益)	4,555
貸倒引当金の増減額(は減少)	66
役員賞与引当金の増減額(は減少)	9
退職給付引当金の増減額(は減少)	197
受取利息及び受取配当金	396
支払利息	417
持分法による投資損益(は益)	1,396
有形固定資産売却損益(は益)	4
有形固定資産除却損	200
売上債権の増減額(は増加)	5,087
たな卸資産の増減額(は増加)	6,229
仕入債務の増減額(は減少)	2,393
未払消費税等の増減額(は減少)	48
その他	1,324
小計	18,341
利息及び配当金の受取額	507
利息の支払額	410
法人税等の支払額	3,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,767
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	2,849
有形固定資産の売却による収入	8
投資有価証券の取得による支出	4
貸付金の回収による収入	9
その他	146
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,982
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	2,487
コマーシャル・ペーパーの増減額(は減少)	2,000
自己株式の取得による支出	1
配当金の支払額	1,358
その他	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,846
現金及び現金同等物に係る換算差額	2
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	5,940
現金及び現金同等物の期首残高	14,332
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,273

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	製錬事業 (百万円)	電子部材事業 (百万円)	環境・リサイクル 事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	59,133	6,733	5,995	7,472	79,334	—	79,334
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	358	9	90	3,649	4,107	(4,107)	—
計	59,491	6,742	6,086	11,121	83,442	(4,107)	79,334
営業利益又は営業損失(△)	△ 771	538	743	1,198	1,709	(132)	1,577

(注) 1. 事業区分の方法

製品の種類、性質、製造方法、販売方法等の類似性、損益集計区分及び関連資産に照らし区分しております。

2. 各事業の主要な製品

事業区分	主要製品等
製錬事業	亜鉛製品、鉛製品、電気銀、硫酸等
電子部材事業	電子部品、電解鉄、プレーティング、機器部品等
環境・リサイクル事業	酸化亜鉛、廃棄物処理再生等
その他事業	防音建材、土木・建築・プラントエンジニアリング、運輸、環境分析等

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前第3四半期に係る財務諸表等

(要約)前第3四半期累計期間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第3四半期累計期間
	(自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
I 売上高	113,394
II 売上原価	94,915
売上総利益	18,479
III 販売費及び一般管理費	4,567
営業利益	13,911
IV 営業外収益	1,219
1. 受取利息及び受取配当金	376
2. 持分法による投資利益	478
3. その他	364
V 営業外費用	1,111
1. 支払利息	502
2. その他	608
経常利益	14,019
VI 特別利益	8
1. 固定資産売却益	3
2. その他	5
VII 特別損失	328
1. 固定資産除却損	231
2. その他	96
税金等調整前四半期純利益	13,700
法人税、住民税及び事業税	4,114
法人税等調整額	1,294
四半期純利益	8,291

6. その他の情報

売上高比較表

期別 品名	前第3四半期連結累計期間 〔自平成19年4月1日 至平成19年12月31日〕			当第3四半期連結累計期間 〔自平成20年4月1日 至平成20年12月31日〕			前連結会計年度 〔自平成19年4月1日 至平成20年3月31日〕		
	数量	金額 百万円	構成比 %	数量	金額 百万円	構成比 %	数量	金額 百万円	構成比 %
亜鉛製品	t 107,586	43,648	38.5	t 103,650	21,696	27.3	t 141,970	53,545	36.3
鉛製品	t 71,330	24,557	21.7	t 65,461	14,639	18.5	t 95,590	32,406	22.0
電気銀	Kg 255,851	12,959	11.4	Kg 238,454	11,630	14.7	Kg 347,768	18,251	12.4
硫酸	t 185,530	889	0.8	t 200,779	1,311	1.7	t 280,384	1,478	1.0
酸化亜鉛		3,967	3.5		2,560	3.2		4,943	3.4
電子部品		4,160	3.7		3,001	3.8		5,397	3.7
電子材料等		4,082	3.6		3,757	4.7		5,528	3.8
防音建材		1,938	1.7		1,514	1.9		2,555	1.7
廃棄物処理		2,351	2.1		1,793	2.3		3,299	2.2
完成工事高		1,759	1.6		2,173	2.7		2,910	2.0
その他		13,079	11.5		15,254	19.2		17,073	11.6
合計		113,394	100.0		79,334	100.0		147,390	100.0